

平成30年度

京都府社会福祉協議会 事業計画・予算

「第4次中期計画（平成27年度～31年度）の5つの柱にそって
平成30年度の重点事業を紹介します。」

1 「生活に困窮する人の自立支援」と「社会的孤立を防ぐ取り組み」の一体的な推進

- 生活困窮者をはじめとする社協の総合相談支援、地域連携の仕組みの構築協賛
- 生活福祉資金貸付制度における広報の強化、相談支援活動の充実と債権管理の強化
- 自己（意思）決定支援を重視した福祉サービス利用援助事業の推進
- 社会福祉法人との協働による「わっかプロジェクト（京都地域福祉創生事業）」の推進
- 「絆ネット」による福祉のまちづくりの推進
- 市町村社協におけるボランティアセンター機能の新たな展開への支援
- 社会的包摂をめざす福祉教育の推進（共生社会・インクルーシブ社会の実現に向けた福祉教育推進委員会の開催）
- 市町村社協における法人後見事業への取り組み支援
- 「生活困窮社会における地域づくり研究会」の運営、最終報告のとりまとめ
- 切れ目のない相談・支援体制づくりの一環として、食材の提供をおおして子ども食堂等を支援する仕組みづくり

2 社会福祉法人との連携・協働と福祉サービスの質の向上

- 社会福祉法人との協働による「わっかプロジェクト（京都地域福祉創生事業）」の推進
- 福祉サービス苦情解決事業の推進
- 介護・福祉サービス第三者評価事業の推進

3 福祉・介護人材の確保、定着、育成のための総合的な事業推進

- 福祉人材マッチング事業を中核とする福祉人材確保対策の総合的推進
- 潜在有資格者の新登録システムや貸付制度を活用した事業の推進
- 無資格者に対する事業の展開、新たな広報事業の推進
- 子ども・子育て支援新制度により要請される保育人材確保事業の推進
- キャリアパス対応型研修等の研修体系再編整備
- 地域共生社会の創造に必要な専門性を高める研修の推進
- 行政、養成校、各種団体と連携した事業の取り組みの推進

4 「防災・減災のまちづくり」と「被災者・被災地のニーズに沿った災害支援活動」の推進

- 市町村社協災害ボランティア担当者会議の開催
- 市町村災害ボランティアセンター間のブロック別相互支援体制の構築
- 京都府災害ボランティアセンターへの参画と事務局運営
- 京都府災害時要配慮者避難支援センターへの参画
- 災害時連携NPO等ネットワークへの参画

5 幅広い協働による事業展開

- 社会福祉関係団体との連携促進
- 民生委員・児童委員活動との連携促進
- 共同募金運動への協力・協働
- 京都デザインフォーラムの開催（共催）
- 切れ目のない相談・支援体制づくりの一環として、食材の提供をおおして子ども食堂等を支援する仕組みづくり（再掲）

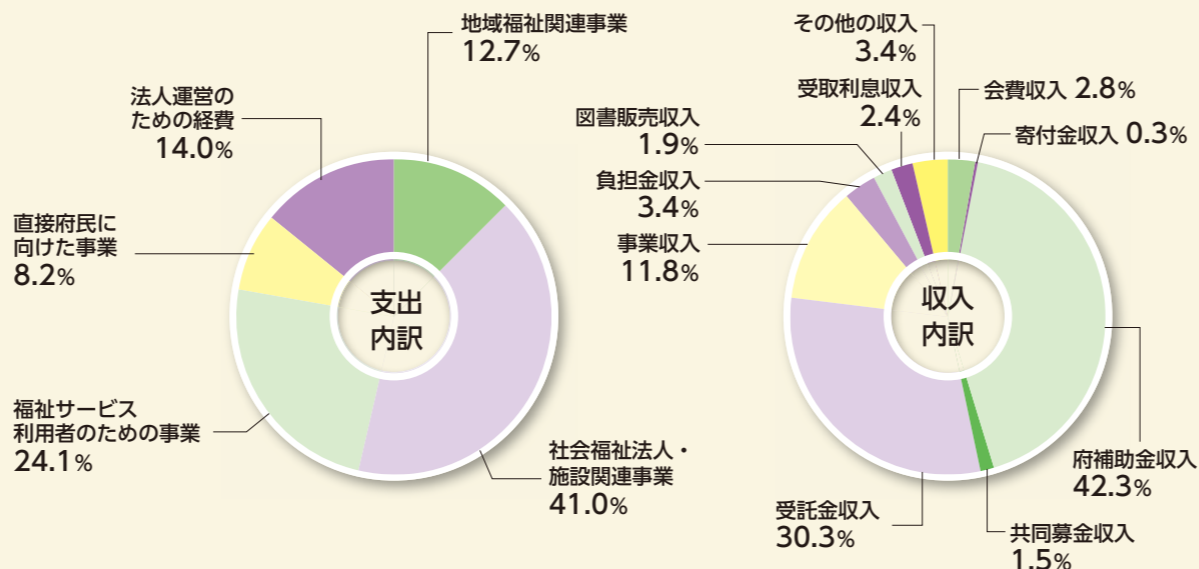
平成30年度 一般会計予算の概要

生活福祉資金会計の概要

生活福祉資金には、教育資金をお貸しする教育支援資金、一時的に必要な経費をお貸しする福祉資金、失業等によってお困りの方に資金をお貸しする総合支援資金などがあります。平成30年度の貸付金、償還金の見込は下記のとおりです。

(単位：千円)

	平成30年度 当初予算	平成29年度 当初予算	増減
貸付	701,000	610,500	90,500
償還	582,551	560,701	21,850



実質的収支のまとめ

(単位：千円)

	平成30年度 当初予算	平成29年度 当初予算	増減
事業活動収入	527,876	532,091	△4,215
事業活動支出	539,976	544,506	△4,530
事業活動収支差額	△12,100	△12,415	315
その他の活動収入	12,433	12,770	△337
その他の活動支出	86	72	14
その他の活動収支差額	12,347	12,698	△351
当期資金収支差額	247	283	△36

(注) 実質的収支とは、本会の事業運営に関わる収支を示すものとして、退職金支給にかかる収支、貸付事業の貸付金・償還金、ボランティア基金サービス区分及び会計区分間の収支を除外するなどを行った数値です。